【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年８月13日
【四半期会計期間】	第53期第１四半期(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)
【会社名】	ＪＦＥコンテイナー株式会社
【英訳名】	JFE Container Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小 野 定 男
【本店の所在の場所】	東京都千代田区猿楽町一丁目５番15号
【電話番号】	03-5281-8511（代表）
【事務連絡者氏名】	企画部長 村上伸二
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区猿楽町一丁目５番15号
【電話番号】	03-5281-8514
【事務連絡者氏名】	企画部長 村上伸二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号)

第一部 【企業情報】

第１ 【企業の概況】

１ 【主要な経営指標等の推移】

回次		第52期 第１四半期 連結累計期間	第53期 第１四半期 連結累計期間	第52期
会計期間		自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日	自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日	自　平成24年４月１日 至　平成25年３月31日
売上高	(千円)	6,386,757	6,137,858	25,745,666
経常利益	(千円)	396,804	475,761	1,824,677
四半期(当期)純利益	(千円)	169,054	298,782	1,064,034
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	333,360	690,966	1,510,458
純資産額	(千円)	17,174,024	18,915,560	18,367,908
総資産額	(千円)	29,163,558	30,503,611	29,823,546
１株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	5.90	10.43	37.14
潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	―	―	―
自己資本比率	(%)	56.8	59.0	58.8

(注) １．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２．売上高には、消費税等は含まれておりません。
３．潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

２ 【事業の内容】

当第１四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第２ 【事業の状況】

１ 【事業等のリスク】

当第１四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

２ 【経営上の重要な契約等】

当第１四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

３ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（１）業績の状況

①わが国経済および産業用容器業界の状況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の政権交代、その後の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」いわゆるアベノミクスによる金融緩和により円安が進行し、平成25年３月期決算では多くの輸出企業が好決算となり、経済回復への期待感から個人消費や住宅投資等も増加し、景気回復に向けた動きが見られます。

しかしながら、鉱工業生産分野に関しましては、生産は緩やかな持ち直しの動きがみられる程度であり、円安による輸出の拡大効果も限定的で、依然不透明な状況が続いております。

当社グループの事業分野である産業用容器業界におきましても、主要需要家である化学・石油業界は、稼働率が低迷し、設備の一部停止や統廃合を進めるなど、需要回復の兆しが見えない厳しい状況下にあります。全国の200リットル新缶ドラムの出荷量は、2013年１月以降前年割れが続いており、当第１四半期連結累計期間の実績は、前年同期比4.1%減の3,086千缶となりました。

②当社グループの状況

このような需要環境の下、当社グループは、国内産業用容器業界のリーディングカンパニーとしてアジアでも最大級の販売規模を有し、中国にもドラム缶工場を有するわが国唯一の企業グループとして、独自の環境対応製品や耐久性の高い高品質の製品など、豊富な品揃えで営業活動を展開し、業界をリードしております。

当第１四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高61億37百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益３億11百万円（前年同期比42.0%減）、経常利益４億75百万円（前年同期比19.9%増）となり、四半期純利益は２億98百万円（前年同期比76.7%増）となりました。

売上高・営業利益につきましては、国内200リットル新缶ドラムの販売数量減少に加え、本年１月にドラム缶価格の引き下げを実施したため減少いたしましたが、持分法適用会社の損益改善や為替差益の影響により経常利益・四半期純利益は増加いたしました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

〔ドラム缶事業〕

当第１四半期連結累計期間の当社グループのドラム缶販売数量は、国内1,153千缶（前年同期比5.6%減）、中国817千缶（前年同期比28.2%増）、合計1,970千缶（前年同期比6.0%増）となり、売上高は61億２百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益は４億64百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

国内ドラム缶事業は、前述の産業用容器業界の状況の通り、主な需要先である化学・石油業界の需要低

迷による販売減と、ドラム缶価格の引き下げにより、前年同期に対し減収減益となりました。

一方、中国ドラム缶事業は、欧州危機に伴う輸出の不振や景気減速による個人消費の伸び悩みにより需要の伸びは鈍化傾向にありますが、江蘇工場の本格稼動により販売数量は前年同期に対し増加し、増収となりました。2013年１月度の販売量は３工場合計で過去最高の320千缶を達成し、グループ全体のドラム缶販売数量に占める中国の比率は前年同期の34.3%から41.5%に上昇しました。損益につきましては、同業他社との競争激化により厳しい環境にありますが、販売数量増により、前年同期に対し増益となりました。

なお、浙江工場の第２ラインの建設は2013年10月の稼動に向け、順調に進んでおります。

〔高圧ガス容器事業〕

高圧ガス容器事業は、主力である天然ガス自動車用燃料容器の販売が低迷しており、厳しい収益状況が続きました。当第１四半期連結累計期間の売上高は35百万円（前年同期比69.8%減）、経常損益は32百万円の損失（前年同期は１百万円の損失）となりました。天然ガス自動車用燃料容器に関しましては、海外での天然ガス自動車普及に伴う需要増加に対応すべく活動中であり、また国内では、医療用酸素容器の拡販に加え、官民挙げて本格普及に向けた取り組みが開始された燃料電池自動車関連事業など、ビジネスチャンスを的確に捉え、早期の黒字化を目指してまいります。

（２）財政状態の分析

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比６億80百万円増加の305億３百万円となりました。主な要因は原材料及び貯蔵品、有形固定資産の増加によるものです。

一方負債の部は、前連結会計年度末比１億32百万円増加の115億88百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、借入金の増加によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末比５億47百万円増加の189億15百万円となりました。主な要因は、当期純利益計上に伴う利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の増加によるものです。

（３）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第１四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（４）研究開発活動

当第１四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動金額は、37百万円であります。

第３ 【提出会社の状況】

１ 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	56,000,000
計	56,000,000

② 【発行済株式】

種類	第１四半期会計期間末現在発行数(株)(平成25年６月30日)	提出日現在発行数(株)(平成25年８月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	28,675,000	28,675,000	東京証券取引所（市場第二部）	単元株式数は1,000株であります
計	28,675,000	28,675,000	―	―

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年４月１日～平成25年６月30日	―	28,675,000	―	2,365,000	―	4,649,875

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第１四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第１四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年３月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	―	―	―
議決権制限株式(自己株式等)	―	―	―
議決権制限株式(その他)	―	―	―
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 30,000	―	―
完全議決権株式(その他)	普通株式 28,587,000	28,587	―
単元未満株式	普通株式 58,000	―	―
発行済株式総数	28,675,000	―	―
総株主の議決権	―	28,587	―

② 【自己株式等】

平成25年３月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ＪＦＥコンテイナー株式会社	東京都千代田区猿楽町１丁目５番15号	30,000	―	30,000	0.1
計		30,000	―	30,000	0.1

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第４ 【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第１四半期連結会計期間(平成25年４月１日から平成25年６月30日まで)及び第１四半期連結累計期間(平成25年４月１日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,897,019	1,801,432
受取手形及び売掛金	※2 9,410,970	※2 9,149,814
商品及び製品	181,647	175,436
仕掛品	109,375	136,915
原材料及び貯蔵品	1,979,298	2,511,171
繰延税金資産	163,740	163,837
その他	981,161	1,047,736
貸倒引当金	△1,202	△1,308
流動資産合計	14,722,011	14,985,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,795,702	1,982,606
機械装置及び運搬具（純額）	3,658,995	3,747,912
土地	6,531,250	6,531,250
建設仮勘定	637,716	744,111
その他（純額）	194,865	185,500
有形固定資産合計	12,818,528	13,191,380
無形固定資産		
その他	278,200	281,835
無形固定資産合計	278,200	281,835
投資その他の資産		
投資有価証券	1,379,744	1,423,975
繰延税金資産	339,268	342,410
その他	290,642	283,322
貸倒引当金	△4,850	△4,350
投資その他の資産合計	2,004,805	2,045,359
固定資産合計	15,101,535	15,518,575
資産合計	29,823,546	30,503,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 4,408,600	※2 4,646,402
短期借入金	2,717,162	2,725,229
未払法人税等	290,020	196,557
未払消費税等	54,679	38,889
役員賞与引当金	38,800	8,784
その他	1,513,866	1,389,208
流動負債合計	9,023,130	9,005,071
固定負債		
長期借入金	1,098,511	1,251,082
退職給付引当金	1,216,569	1,233,471
役員退職慰労引当金	95,200	76,200
PCB処理引当金	22,226	22,226
固定負債合計	2,432,507	2,582,979
負債合計	11,455,637	11,588,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,000	2,365,000
資本剰余金	4,649,875	4,649,875
利益剰余金	10,562,778	10,718,337
自己株式	△6,493	△6,584
株主資本合計	17,571,160	17,726,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,769	48,183
為替換算調整勘定	△80,158	229,739
その他の包括利益累計額合計	△33,389	277,923
少数株主持分	830,138	911,009
純資産合計	18,367,908	18,915,560
負債純資産合計	29,823,546	30,503,611

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
売上高	6,386,757	6,137,858
売上原価	4,912,055	4,815,397
売上総利益	1,474,701	1,322,461
販売費及び一般管理費	937,566	1,010,924
営業利益	537,135	311,537
営業外収益		
受取利息	1,921	1,627
受取配当金	2,344	2,310
受取賃貸料	22,047	21,185
為替差益	―	114,487
持分法による投資利益	―	50,644
その他	9,663	25,888
営業外収益合計	35,976	216,143
営業外費用		
支払利息	27,118	14,720
持分法による投資損失	89,020	―
固定資産賃貸費用	16,366	13,559
その他	43,800	23,638
営業外費用合計	176,306	51,918
経常利益	396,804	475,761
税金等調整前四半期純利益	396,804	475,761
法人税等	234,092	173,099
少数株主損益調整前四半期純利益	162,712	302,662
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△6,341	3,880
四半期純利益	169,054	298,782

【四半期連結包括利益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	162,712	302,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,980	5,057
為替換算調整勘定	203,564	386,889
持分法適用会社に対する持分相当額	1,063	△3,642
その他の包括利益合計	170,647	388,303
四半期包括利益	333,360	690,966
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,668	610,095
少数株主に係る四半期包括利益	36,691	80,871

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 当社の連結子会社であるＪ缶管財株式会社は、平成25年４月１日付にて当社が吸収合併いたしました。 (2) 持分法適用の範囲の重要な変更 当社の持分法適用会社であるＪＮＭホールディングス株式会社は、平成25年４月１日付にて同社の100%子会社であるＪＦＥ製缶株式会社および太陽製罐株式会社と合併し、商号変更により新生製缶株式会社となりました。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)
・税金費用の計算	当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1　受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
受取手形裏書譲渡高	295,683千円	360,474千円

※２　四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第１四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
受取手形	5,883千円	4,117千円
支払手形	49,707千円	57,746千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
減価償却費	245,265千円	229,473千円

(株主資本等関係)

前第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

・配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	１株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年６月28日 定時株主総会	普通株式	143,229	5.0	平成24年３月31日	平成24年６月29日	利益剰余金

当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

・配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	１株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	143,223	5.0	平成25年３月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	ドラム缶	高圧ガス容器	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,268,083	118,673	6,386,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	6,268,083	118,673	6,386,757
セグメント利益又は損失(△)	506,170	△1,167	505,003

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利　益	金　額
報告セグメント計	505,003
持分法損益	△89,020
その他	△19,178
四半期連結損益計算書の経常利益	396,804

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるＪＦＥ製缶株式会社（分割前会社）は、Ｊ缶管財株式会社に商号変更するとともに、ＪＦＥ製缶株式会社（分割後会社）を新設分割により設立いたしました。またＪＦＥ製缶株式会社（分割後会社）は、当社、日本製罐株式会社及び伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社の３社による共同株式移転により設立されたＪＮＭホールディングス株式会社の完全子会社となったことから、同社を持分法適用の範囲に含めております。

この結果、従来連結子会社であったＪＦＥ製缶株式会社（分割前会社）の営む18リットル缶事業を持分法適用会社であるＪＦＥ製缶株式会社（分割後会社）に承継させたことにより、報告セグメントの「18リットル缶事業」を廃止致しました。なお、Ｊ缶管財株式会社の営む事業は、報告セグメントの「ドラム缶事業」に含めております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:千円）

	報告セグメント		
	ドラム缶	高圧ガス容器	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,102,054	35,803	6,137,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	6,102,054	35,803	6,137,858
セグメント利益又は損失(△)	464,802	△32,211	432,591

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	432,591
持分法損益	50,644
その他	△7,473
四半期連結損益計算書の経常利益	475,761

３．報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(１株当たり情報)

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
１株当たり四半期純利益金額	５円90銭	10円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	169,054	298,782
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	169,054	298,782
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,645	28,644

(注)　潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

当社は、平成24年12月26日開催の取締役会での承認に基づき、下記の通り子会社を設立いたしました。

①設立の目的

このたび進出を決めた重慶市は天然ガス資源を活用した化学産業が振興しており、大幅な化学工業の伸長が計画されています。

この情勢を捉え、欧米系化学メジャーを中心に重慶地域の高品質ドラム缶需要に対応いたします。

②子会社の概要

（１）社名　　杰富意金属容器（重慶）有限公司

（２）代表者　　董事長 小野定男

（３）所在地　　重慶市長寿経済技術開発区内

（４）主な事業内容 ドラム缶の製造・販売、容器の仕入れ販売

（５）資本金　　1,878万ＵＳドル

（６）設立年月　　平成25年６月28日

（７）出資比率　　ＪＦＥコンテイナー株式会社 75.1%

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社　　19.9%

ハイケム株式会社　　5.0%

（８）決算日　　12月31日

③平成25年８月５日に当社より当社持分の50%である705万ＵＳドルを出資いたしました。

２ 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年８月13日

ＪＦＥコンテイナー株式会社
取締役会　御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	谷 上 和 範	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中 村 裕 輔	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	西 野 尚 弥	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているＪＦＥコンテイナー株式会社の平成25年４月１日から平成26年３月31日までの連結会計年度の第１四半期連結会計期間(平成25年４月１日から平成25年６月30日まで)及び第１四半期連結累計期間(平成25年４月１日から平成25年６月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ＪＦＥコンテイナー株式会社及び連結子会社の平成25年６月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第１四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

(注) １．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
２．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。